

議会だより おかがき

No.104 6月定例会 平成27年7月25日発行

地方創生への第一歩 ● 2

町政を問う ● 6～7

一般質問



**子ども達に
夢、未来あるまちづくりを！**

定例会 概要

地方創生への第一歩

平成27年度 岡垣町一般会計補正予算を可決

総額96億968万9千円に

第2回定例会は6月5日から16日までの会

期で開かれ、平成27年度一般会計補正予算(第1号)を含む8議案について審議・議決しました。

提案された主な議案

- ① 岡垣町国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ② 岡垣町太陽光発電設備の設置に係るため池の使用料に関する条例の制定について
- ③ 岡垣町民間宅地開発奨励金の交付に関する条例の制定について
- ④ 専決処分の承認を求めることについて 岡垣町一般会計補正予算(第1号)
- ⑤ 岡垣町一般会計補正予算(第2号)

⑥ 岡垣町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

⑦ 岡垣町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

⑧ 消防ポンプ自動車購入契約について

一般会計補正予算(第1号)専決処分

○いこいの里入浴施設機械室復旧工事
(火災被害による)

1814万円

一般会計補正予算(第2号)

2545万5千円を減額し

総額96億968万9千円に

主な使いみち

- 草の根交流(国際交流)事業 180万円
- 多面的機能支交付金事業 792万円
- 消防施設災害復旧事業 230万円
- 地方創生等の重複計上による減額 ▲4669万円

全員協議会の主な議題

- ① ふるさと納税(おかがき応援寄附金)推進
- ② まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ③ 西鉄路線バスの便数変更

議決の状況について

議員の賛成○・反対●・除斥 除・退席 退・欠席 欠

内 容	採決日	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		結果	小野元次	市津広海	西美千代	下川路勲	広渡輝男	三浦進	平山正法	曾宮良壽	森山浩二	神崎宣昭	木原大輔	太田強
岡垣町国民健康保険条例の一部を改正する条例	6/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町太陽光発電設備の設置に係るため池の使用料に関する条例の制定について	6/16	賛成多数可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町民間宅地開発奨励金の交付に関する条例の制定について	6/16	賛成多数可決	○	○	●	●	●	○	●	○	○	○	●	○
専決処分の承認を求めることについて －平成27年度 岡垣町一般会計補正予算(第1号)－	6/5	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度 岡垣町一般会計補正予算(第2号)	6/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	6/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	6/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消防ポンプ自動車購入契約について	6/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



消防ポンプ自動車



宅地開発等が進む役場周辺

備の設置に係る 関する条例の制定

反対

下川路 勲 議員

広渡 輝男 議員

当面は2カ所のため池に太陽光パネルを設置する計画であるが、ため池周辺の生態系の変化や我が町の基幹産業である農業への影響が懸念される。

また、地球温暖化が一因ともいわれている局地的な集中豪雨とそれに伴う土砂災害、そして大地震等の災害が頻発する今、大規模な設備の設置には慎重になるべきではないか。

さらに本協定は20年とのことで、刻一刻と変化する現在の社会情勢への臨機応変な対応を憂慮させるスパンであるのも、反対理由の一つである。

太陽光発電設備の設置に係るため池の使用料に関する条例は、行政財産である農業用のため池を民間会社からの太陽光発電設備の設置申し出に呼応して、行政財産の目的外使用の許可を行い、ため池の水面を一部占有・使用させることを目的に行政財産の使用料を徴収する条例である。

条例の根拠となる基本協定書案は、民間事業者に行政財産のため池を特例的に使用を許可し、年間85万4千円の使用料の徴収を目的としている。太陽光発電設備の収益に對して、行政財産を20年の間拘束すること。また協定内容から、将来町が債務を負うことも懸念され反対である。



太陽光発電設備の設置例



長沼ため池



塚田3ため池

太陽光発電設備 ため池の使用料に

賛成

神崎 宣昭 議員

1. 時代情勢に対応し、国県等の動向にあわせた取り組みであり、町の最上位計画である岡垣町第5次総合計画と岡垣町第2次環境ビジョンに基づいた政策であること。

2. 行政財産であるため池に着目し、目的外使用での土地を有効利用して、収入を得ること。

3. 行政が1円も出さずに諸税を含めて年間177万円を得るゼロリスク、ハイリターンの取り組みであること。

4. まちの景観を損なわずに住環境に配慮した取り組みであること。

以上4項目の取り組みを評価して賛成する。

太田 強 議員

平成26年9月の全員協議会で本議案に係る事前説明として、ため池水面の貸付け（太陽光発電設備）について詳しく説明を受けた。その際、議員側から近隣住民への説明も必要であるとの意見も出された。4カ所の候補地から今回は2カ所に絞り込まれており、町が関係者や地元住民との協議を踏まえ、慎重に対応された結果である。

第5次総合計画や第2次環境ビジョンには公共施設への再生可能エネルギーの導入に積極的に取り組むと示しており、町の収入増とともに、町が積極的に施策に取り組んでいると判断し賛成する。

平山 正法 議員

この事業のメリットは、町の負担はなく、使用料を得ること。デメリットは、水面が底をつかないように管理しなければならぬことであるが、長沼ため池、塚田3ため池とも、今まで水面が底をついたことがない。太陽光の反射も懸念されるが、近隣の住民には影響がない場所を選んでいる。

太陽光発電は、深刻化するエネルギー資源問題の有力な解決策の一つであり、発電の際に地球温暖化の原因とされている二酸化炭素も全く排出しない。

原発依存のエネルギー政策から、自然エネルギーへの転換になるきっかけとなることを強く望んで賛成する。

小野 元次 議員

本議案は、平成26年9月と12月の両議会において説明があり、本年3月議会に一度上程され、総務産業常任委員会で継続審査とされていたが、行政財産の有効活用による自主財源の確保を目的として、この6月議会に再度上程されたものである。

岡垣町の一般会計当初予算は、96億1,700万円であり、その財源比率は、自主財源が41.4%、依存財源が58.6%となっており、安定的な自主財源基盤を築くことは、議会でも論じられているところである。今後、町有財産を有効に活用して自主財源を確保し、活力あるまちづくりを積極的に進める政策であることに期待し賛成とする。

平山

子ども医療費の支援拡充を

町長

現行の制度を継続する



平山 正法 議員

平山 本年2月の福岡県議会において、小川知事が人口減少対策として乳幼児医療費助成の拡充を検討すると答弁したことを知っていますか。

町長 知事の答弁があったと聞いていますが、内容や実施時期は未定とのことでした。

平山 本町では入院は中学3年生まで無料で通院は小学1年生から6年生まで1カ月800円の自己負担で受診でき、県内でも進んでいることは評価しますが、アベノミクスによる格差拡大など、私たちの生活は苦しくなっています。
安心して子育てができるまちづくりを目指していくために子ども医療費の支援拡充を

求めます。

町長 本町では県の制度拡充に先駆け、独自の制度拡充を行っており、今後も現行の内容で制度を継続していきたいと考えています。私は福祉や医療、子育ての分野は、地域によってサービス水準に差があつてはならないと考えています。市町村間で制度拡充を競い合うことのないよう、実施状況を踏まえて国や県で検



子ども未来館 合唱クラブ

討が加えられ、必要で適切な制度が設計されるよう要望していきたいと考えています。

平山 国会で審議中の安全保障法制が成立すれば、私たちの家族が戦争に巻き込まれる可能性があります。本町では平和学習などについて取り組

広渡

岡垣町版総合戦略の取り組みを

町長

第5次総合計画と連動した取り組みを進める



広渡 輝男 議員

広渡 全国的に地方創生総合戦略の策定が求められています。3月議会で岡垣町人口ビジョンと岡垣町版地方創生総合戦略について策定方針等の一般質問を行いました。6月議会で引き続き、まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況を尋ねます。

町長 取り組みの現状です

んできました。引き続き戦争のない平和なまちづくりを目指すことについて、どのように考えていますか。

町長 平和な世界、平和な日本のために、平和についての取り組みを継続していきます。

が、国では3月末に地方創生先行型交付金を決定、5月には、国と市町村との意見交換会や地方人口ビジョン、地方版総合戦略、地方創生先行型交付金の上乗せ交付金や地域金融機関との連携協議を行いました。一方、県においては、県の人口ビジョンと総合戦略の策定状況の説明や圏域の市町で情報交換などを行っています。庁舎内では策定委員会等を設置し、人口ビジョンと総合戦略の策定方針や住民アンケートの実施等のほか、仮

称岡垣町まち・ひと・しごと

創生懇話会を設置し、多くの意見反映に努めます。

広渡 地方創生は仕事づくり、人の流れ、結婚して安心して子どもを産み育てることのできる環境づくり、教育環境の充実などが総合戦略の核になるところと考えますが、主要な施策と成果指標についてお尋ねします。

町長 地方における安定した雇用の創出、地方への新しい人の流れをつくる、若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現や時代にあつた地域づくりと安心な暮らしを守ることを目指すとともに、重要業績評価指標の設定やPDCAサイクルの確立に取り組みます。





議会の動き

3月定例議会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議 題
3月23日	議会広報	議会だより編集
4月 2日	議会広報	議会だより編集
4月 9日	議会広報	議会だより編集
5月 1日	全員協議会	初議会協議
5月12日	本 会 議	初議会（臨時会） ・議長、副議長の選挙 ・各委員長、副委員長の互選
5月12日	議会広報	議会だより編集（臨時号）
5月19日	議会広報	議会だより編集（臨時号）
5月21日	研 修 会	初当選議員研修会
5月25日	議会運営	第2回定例会
5月27日	議会広報	議会だより編集（臨時号）
6月 5日	本 会 議	上程・議決
6月 5日	議会広報	議会だより編集
6月 8日	本 会 議	一般質問3人
6月 9日	総務産業	付託案件審査
6月10日	文教厚生	付託案件審査
6月11日	全員協議会	ふるさと納税（おかがき応援寄附金）推進ほか
6月12日	連合審査会	付託案件審査
6月16日	本 会 議	議決
6月16日	議会広報	議会だより編集

西

子育て支援の充実を

町長

必要なサービスを提供する



西 美千代 議員

西 社会参加として働く人や生きがいを求め働く人、経済的に働かざるを得ない母親

町長 子ども・子育て支援新制度が4月に施行され、岡垣町では事業所内保育所の認可や小規模保育所の開設に向け

もふえています。また、ひとり親もふえているのが現実です。希望する全ての人が利用できる保育所になるよう、本町の取り組みを伺います。

町長 エンゼルプランの子育てニーズ調査では、将来的に利用したい事業として要望が

た協議を行っています。

また、民間移譲した東部保育所は改築予定があり、定員増の申し入れを行っていることから待機児童の解消は図れるものと考えています。

西 こども未来館で実施されている一時保育とは対象年齢や預かりの時間帯が違うファミリー・サポート・センター事業に早急に取り組みすべきではないですか。

町長 町民の政治参加を進めることは大切です。近年の投票率の低下傾向について、町長の見解を伺います。

町長 特に次代を担うべき若い世代の投票率の低下を危惧しています。みんなが夢を描

ありました。今後、子育て家庭の意向を見きわめながら平成29年度を目標に検討します。

西 具体的な進め方はどのようにされますか。

町長 平成28年度から意向調査や会員募集などを行っていきます。

西 町民の政治参加を進めることは大切です。近年の投票率の低下傾向について、町長の見解を伺います。

町長 特に次代を担うべき若い世代の投票率の低下を危惧しています。みんなが夢を描



こども未来館 遊戯室

くことができる、魅力的なまちづくりこそが投票率アップにつながるものと考えています。

岡垣町の

ここはどこ？

ここにある銅製毘沙門天立像は、邪鬼を踏み、左手に宝塔をかかげ、右手には三叉を持っており甲冑や衣には、菊花文、雷文などの文様が施されている。

年代は室町時代後期(1491年)であり県の有形文化財に指定されている。

境内にある大樟6本のうち5本が県の天然記念物に指定され、樹齢はいずれも300年以上と推定されているが、現在も樹勢は旺盛である。

社殿の左側にそびえる老杉は、社伝によれば、神功皇后が三韓征伐の折、自らお手植えされたものといわれている。



102号の岡垣町の「ここはどこ」の答えは、波津区にある真福寺でした。

会議録を閲覧してみませんか



◆会議録検索システムは、議会本会議記録を議会ホームページで検索閲覧できるシステムです。

◆会議録は議会事務局やサントリーアイで閲覧できます。(詳しくは議会事務局まで)

岡垣町表彰規程に基づく表彰

20年表彰 曾宮良壽議員(右)

16年表彰 市津広海議員(左)



岡垣町4・5・6月の主な出来事



ラブアース・クリーンアップ



中学校体育会

どうぞ 傍聴席へ

次の定例会は

9月4日(金)
開会の予定

編集後記

神崎 宣昭

今年もまた暑い夏がやってきた。この季節が来るたびに思い浮かぶのが熱闘甲子園である。高校球児のすがすがしく、はつらつとしたチームプレー、それぞれのポジションで、勝つために互いに助け合いチームが1つになり勝利に向って戦う姿には心をうたれる。

新メンバー6名で構成された議会広報特別委員会も、さまざまな分野での経験や見識を持ち備えた委員たちである。後はそれをどう結びつけて、チーム力を発揮させていくかが肝要であり、全ては委員長の手腕次第と自覚し、毎月編集に臨んでいきたい。

発行責任者

議長 横山 貴子

議会広報特別委員会

委員長 神崎 宣昭

副委員長 平山 正法

委員 西山 美千代

委員 三浦 浩二

委員 森山 浩二

委員 木原 大輔